株式会社 シイエム・シイ

2009年9月期 決算説明会



本日のメニュー

- 1. 当社のプロフィール
- 2. 2009年9月期決算について
- 3. 売上高の内訳について
- 4. 2010年9月期の予想について
- 5. 配当政策について
- 6. 今後の展開について

1. 当社のプロフィール

- ▶ 会社概要
- ▶ 沿革
- ▶ 事業内容

会社概要

※ 数値は2009年9月30日現在のもの

会社名 株式会社シイエム・シイ

名古屋市中区平和一丁目1番19号 本社所在地

創業者 林 幹治(現 取締役会長)

1962年5月25日 設立

代表取締役社長 龍山 真澄

529,770千円 資本金

2,243,600株 発行済株式数

455名(連結571名) 従業員数

マーケティング事業、システム開発事業 事業内容

ISO9001、ISO14001、ISO27001、プライバシーマーク 取得認証

ジャスダック証券取引所(2008年12月4日上場 証券コード:2185) 上場取引所

株式会社 CMC Solutions(連結子会社) CMC PRODUCTIONS USA INC 関係会社

広州国超森茂森信息科技有限公司 大地新模式電脳制作有限公司

国内:6拠点 海外:5拠点 拠点



■本社 名古屋市中区



■東京本部 東京都 中央区銀座



■日進センター 愛知県日進市



■大阪営業所 大阪市西区



■中川センター



■CMC Solutions 名古屋市中区



■米国



C::

(ロサンゼルス)

■中国 (北京・上海・広州)

■シンガポール

沿革

11	
1962年 5月	株式会社名古屋レミントンランド・マイクロフィルムサービスを名古屋市東区に設立
	図面・文書などのマイクロフィルムサービス受託業務を開始
1966年 5月	株式会社中部マイクロセンターに商号を変更、本社を名古屋市中区に移転
1970年 12月	パンチサービス受託業務を主業務とするEDP(電子データ処理システム)事業部を開設
1972年 4月	EDP事業部を独立させ株式会社中部システムズを名古屋市中区に設立
	コンピューターオペレーション、プログラム受託業務を開始
1977年 6月	トヨタ自動車販売株式会社(現 トヨタ自動車株式会社)の修理書原稿作成業務の受託を開始
1979年 8月	翻訳を主業務とする株式会社イントランスを東京都中央区に設立
1980年 11月	印刷工場を分社化し、株式会社中部印刷製本センターを名古屋市中川区に設立
1989年 10月	中部マイクロセンターの商号を株式会社シイエム・シイに変更
1994年 2月	分社化していた株式会社イントランス、株式会社中部システムズ、株式会社中部印刷製本センターを 吸収合併し、株式会社シイエム・シイとして新たにスタート
4000年 6日	アメリカの拠点としてロサンゼルスにCMC PRODUCTIONS USA INCを設立
1998年 6月	
2002年 4月	中国辛集市に大地新模式電脳制作有限公司を設立、北京市に事務所を開設
10月	キャリア・プロデュース事業部を開設し、人材派遣業務を開始
2005年 12月	中国広州市に広州国超森茂森信息科技有限公司を設立
2006年 10月	ソフトウエア開発・人材派遣部門を分社化し、株式会社 CMC Solutionsを
	名古屋市中区に設立(連結子会社)
2008年 12月	ジャスダック証券取引所に株式を上場
2009年 3月	シンガポールに支店を開設

事業内容

マーケティング事業(株式会社シイエム・シイ)

インターナル・マーケティング 業務標準化、商品教育、販売教育、技術教育、 会議運営

エクスターナル・マーケティング 販売促進、広告宣伝・広報、ブランド構築、PR

カスタマーサポート・マーケティング 取扱説明書・修理書等の企画・編集・制作

トータルプリンティング 取扱説明書等の印刷、一般商業印刷

システム開発事業(株式会社 CMC Solutions)

コンサルテーションサービス コンピューターソフトウエア開発 システムインテグレーションサービス

スペシャリストサービス

人材派遣 一般人材派遣

2. 2009年9月期決算について

- ▶ハイライト
- ▶ 業績について
- ▶ 自己資本(比率)について
- ▶純利益増減要因
- ▶ キャッシュ・フロー

ハイライト

前期比 4.1%減収、13.0%経常増益

自己資本比率 前期末比 6.2ポイント上昇し、75.2%

キャツシュ・フロー大幅増加

業績について

前期比 4.1%減収、13.0%経常増益

			I	単位:百万円
	2008年9月期	2008年9月期 2009年9月期	前期比	
	2000十3万规	2003十3万粉	金額	%
売上高	13,043	12,513	Δ530	Δ4.1
営業利益	1,304	1,512	+207	+15.9
経常利益	1,360	1,536	+176	+13.0
当期純利益	785	897	+111	+14.2
				単位:円
1株当たり純利益	394.13	407.84	+13.71	

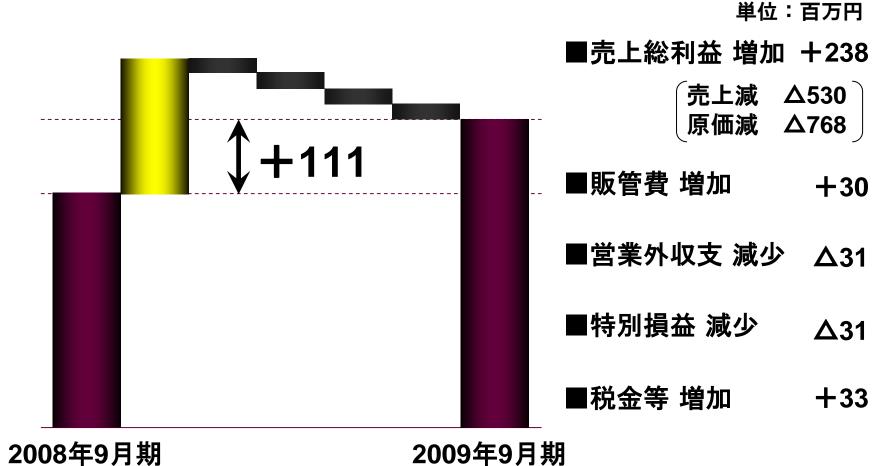
自己資本(比率)について

自己資本比率 前期末比 6.2ポイント上昇し、75.2%

	単位:百				
	2000年0日士	2000年0日士	前期末比		
	2008年9月末	2009年9月末	金額	%	
総資産	8,932	9,908	+975	+10.9	
純資産	6,163	7,453	+1,289	+20.9	
自己資本比率(%)	69.0	75.2	+6.2		
				単位:円	
1株当たり純資産	3,091.70	3,321.91	+230.21		

純利益増減要因

売上総利益率 改善

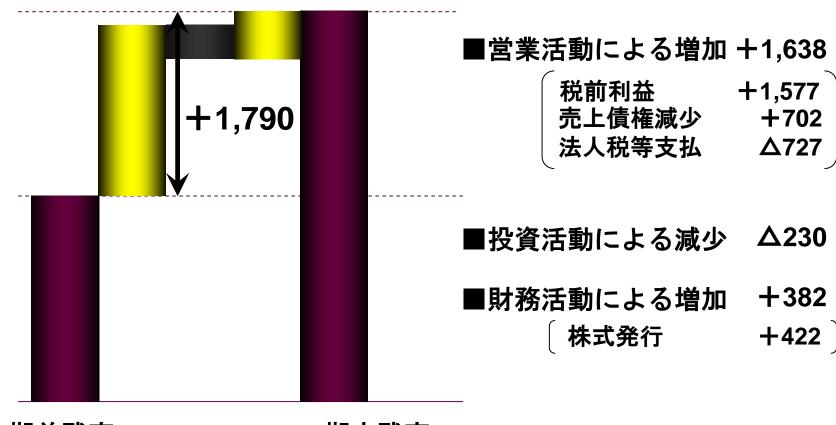


純利益: 785 純利益: 897

キャッシュ・フロー増減要因

営業活動収入増、増資による収入増





期首残高:

1,688

期末残高:

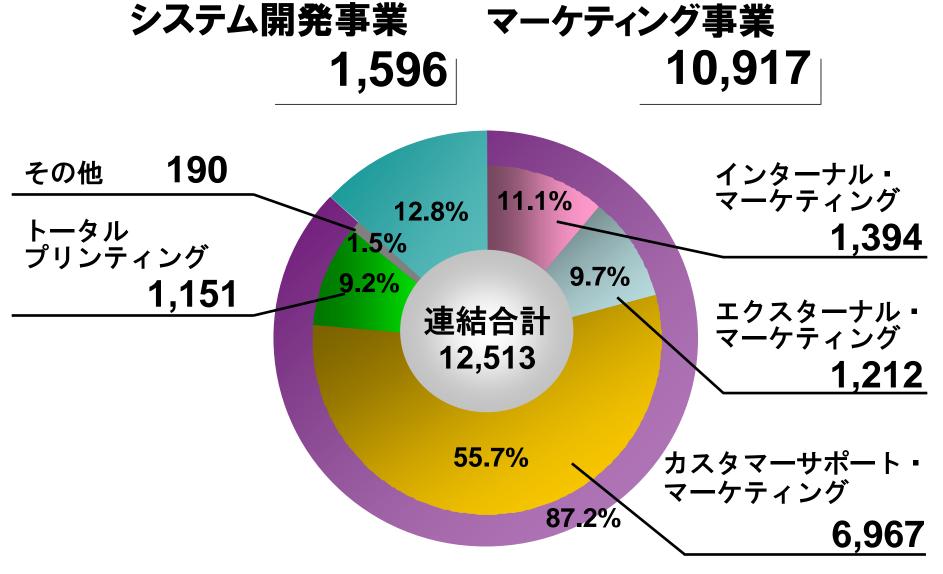
3,479

3. 売上高の内訳について

- ▶ グループ業務分類別売上
- ► マーケティング事業 インターナル・マーケティング エクスターナル・マーケティング カスタマーサポート・マーケティング トータルプリンティング
- ▶ システム開発事業

グループ業務分類別売上 2009年9月期

単位:百万円



マーケティング事業 インターナル・マーケティング

顧客企業の予算削減により減収

単位:百万円

坐效力应	2008年9月期	2009年9月期	前期比		
業務内容	2000平3万粉	2005 十 5万 初	金額	%	
教育支援	903	809	△94	Δ10.4	
社内業務合理化支援 他	690	584	Δ106	Δ15.3	
合 計	1,593	1,394	Δ200	Δ12.5	

マーケティング事業 エクスターナル・マーケティング

顧客企業の予算削減により減収

単位:百万円

坐攻山穴	2008年9月期	2009年9月期	前期比		
業務内容	2000年3万朔	2005年3万朔	金額	%	
販売促進	1,362	830	Δ532	Δ39.0	
ブランディング	222	179	Δ43	Δ19.2	
広報・人事・採用・IR 他	323	202	Δ122	Δ37.6	
合 計	1,908	1,212	△696	△36.5	

マーケティング事業カスタマーサポート・マーケティング

取扱説明書、修理書等の企画・編集・制作 好調

坐效力点	2008年9月期	2009年9月期	前期比		
業務内容	2000年3万州	2003年3月初	金額	%	
取扱説明書	2,943	3,052	+109	+3.7	
修理書・解説書 他	2,378	3,110	+732	+30.8	
その他	902	804	Δ98	Δ10.8	

6,967

6,223

単位:百万円

+12.0

+744

マーケティング事業トータルプリンティング

マニュアル類増加するも商業印刷減少

出法		五七	Ш
串亚	•	$\mathbf{H} D$	

坐攻市坛	2008年9月期	2009年9月期	前期比		
業務内容		2003年3月朔	金額	%	
取扱説明書・修理書 他	543	683	+140	+25.8	
商業印刷	559	446	Δ113	Δ20.1	
その他	71	21	△50	Δ69.6	
合 計	1,173	1,151	Δ22	Δ1.8	

システム開発事業

主要顧客向けシステム開発案件の減少

				単位:百万円	
业 数由点	2008年9月期	2009年9月期	前期比		
業務内容	2000平3万粉	2005 十 3万 初	金額	%	
システム開発	1,606	1,289	Δ318	Δ19.8	
コンピューター ソフト・ハード販売	130	151	+21	+16.5	
人材派遣	204	155	△49	Δ23.8	
合 計	1,941	1,596	Δ345	Δ17.7	

4. 2010年9月期の予想について

- ▶ 業績予想
- ▶ 売上高の内訳

業績予想

			1	単位:百万円
	2009年9月期	2010年9月期	前其	月比
	実 績	予想	金額	%
売上高	12,513	11,682	△830	Δ6.6
営業利益	1,512	862	△649	Δ42.9
経常利益	1,536	886	△650	Δ42.3
当期純利益	897	561	Δ336	Δ37.5
				単位:円
1株当たり純利益	407.84	250.18	△157.66	

売上高の内訳

				単位:百万円
	2009年9月期	2010年9月期	前其	月比
	実績	予想	金額	%
インターナル・ マーケティング	1,394	1,916	+522	+37.4
エクスターナル・ マーケティング	1,212	1,122	Δ90	Δ7.5
カスタマーサポート・ マーケティング	6,967	5,510	△1,457	Δ20.9
トータルプリンティング	1,151	1,150	Δ1	Δ0.2
その他	190	189	Δ1	Δ0.6
マーケティング事業計	10,917	9,888	Δ1,029	Δ9.4
システム開発事業計	1,596	1,794	+198	+12.4
連結合計	12,513	11,682	△830	Δ6.6

5. 配当政策について

▶ 配当実績および見込み

配当実績および予定

2010年9月期、60円に増配

	実績			予	定
	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年
1株当たり配当金	200円	200円	20円	40円	60円
配当性向	5.4%	5.3%	5.1%	9.8%	24.0%
			A		

2008年4月2日付で1株につき10株の株式分割を行っております。

安定性を重視しつつ、以下の要素を総合的に勘案して決定

- 将来の成長に備える内部留保
- 中長期的な業績見通し
- 手元資金状況

6. 今後の展開について

- ▶ マーケティング機能の拡張
- ▶ 海外進出エリアの拡大
- ► インターナル、エクスターナル・ マーケティング分野の拡大

マーケティング機能の拡張

映像、CG、PRのノウハウ強化

環境悪く、慎重に検討中 まずはCGについて、M&A対象会社の選定へ

金融サービス 店舗告知▼



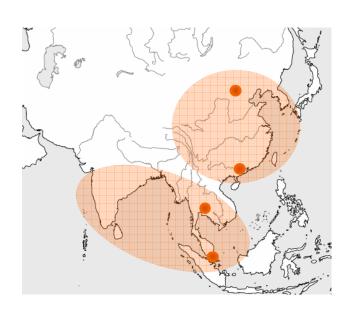
▼商品コマーシャルフィルム



海外進出エリアの拡大

顧客企業の現地化への対応

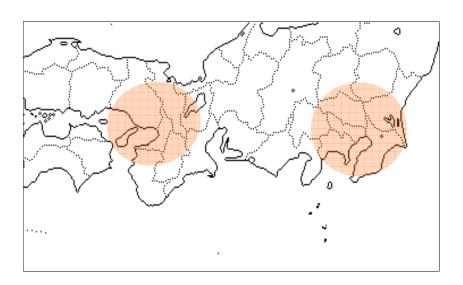
中国・・・関連会社による対応 東南アジア・・・シンガポール支店の現法化と タイへの進出を検討



インターナル、エクスターナル・マーケティング分野の拡大

多様な業種への深耕

首都圏・関西圏に集中する大手企業への拡販に注力



本資料における当社の今後の計画、見通し、戦略等の将来予想に関する記述は、当社が現時点において合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等の結果はこれらの見通しと異なる可能性がありますことをご了承ください。

本資料に関するお問合せ先

株式会社シイエム・シイ

経営企画室担当 常務執行役員 田島龍司

電話:052-322-3386

URL: http://www.cmc.co.jp/

〒460-0021 名古屋市中区平和一丁目1番19号

